

第9期小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画（案）に対する厚生文教委員会からの意見及び検討結果について

No	ページ	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
1	P177	第1章計画策定の背景と目的／2踏まえるべき背景や動向など／(3)介護人材の確保と育成	現状の介護事業で働く職員の賃金など課題がある。アンケート調査でも、人材確保のための今後の取り組みについて、賃金を上げることが1位である。そのことを踏まえた文言を補充する事と、上から5行目を「介護職員数も高齢者人口が増えるとともに、厳しい労働環境のもと、全国的に不足が見込まれており」と修正する事を要望する。	記述の一部を次のとおり修正します。 「介護職員数も高齢者人口が増えると同時に、全国的に不足が見込まれており、2040年（令和22年）までには現状よりも約69万人増やす必要があると予測されているほか、業務を取り巻く環境の改善が課題となっています。」
2	P221	第3章計画の基本理念と視点／2視点／(2)地域共生社会の実現	文章上、「8050問題」が記載されているが、施策には8050問題に対応する記述がない。相談窓口やサポートセンターの支援体制をつくることを検討することの追記を要望する。	8050問題等の複合的な課題が背景にある事例については、本計画の上位計画である「地域福祉計画」で新たに掲げられた、年齢や障害の有無にかかわらず支援体制の構築を図る重層的支援体制整備を推進することにより対応します。具体的な相談窓口は、本市の場合、福祉総合相談窓口や地域包括支援センター等となり、同体制整備を進める中で相談機関の連携を強化し、支援体制を構築します。
3	P243	第4章施策の展開／基本目標2地域で自立して暮らし続ける仕組みづくり／(5)ケアラー（介護者）への支援の推進【新規】	【新規事業】NO28事業名、庁内の横断的な連携体制の構築(実施)の事業概要には、支援、連携強化や体制整備とあるが、ヤングケアラーについては、本人の誇りを傷つけることのないように配慮しながら、生活の実態や必要とする支援、将来を考えて今必要なことができているかどうか等の実態調査が欠かせないと思われる。体制整備と共に実態調査の実施を要望する。	ヤングケアラーの実態把握については、子ども施策に係る計画策定に向けたニーズ調査（中学校・高校年代ご本人向け調査）の中で、ヤングケアラーに関する設問を設け、調査を実施しています。ヤングケアラー支援に関しては、子ども、障がい分野所管部署及び社会福祉協議会等他機関とも連携しながら推進を図ります。

No	ページ	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
4	P249	第4章施策の展開／基本目標3 地域共生社会の実現に向けた仕組みづくりと人材育成／(4)人材育成・確保の推進	【重点取り組み事業】NO 1 4 事業名、介護分野への就労支援の継続の事業概要 2 行目末の、「受講料の助成をし」のあとに、「就労へとつなぐため市内事業所などの情報提供や、相談業務を事業所等と連携して実施します。」と追記し実態も則す様に要望	記述の一部を次のとおり修正します。 「介護人材確保のため、ハローワークとの共催による就職面接会を実施します。また、介護職員初任者研修については、受講料を助成するとともに同研修を実施したうえで、市内での就労へとつなぐため、介護事業者連絡会と連携して情報提供等を行い、訪問介護職員等の介護人材の確保に取り組みます。」